



# ちょっとタシマ

第25話  
「友だちに病気のこと話そうかなの巻」  
まんが：ラッキー植松



何か悩んでるの？ ゆうくん

今度の日曜にエルちゃんたちとサイクリングに行く約束をしたんだけど…

もし、途中でヒザが痛くなったらどうしよう…

血友病のこと、話しておいた方がいいのかなあ…

でも、エルちゃんたちどう思うだろう…

ゆうくん、友だちにしっかり話すと、黙ったままサイクリングに行くのと、どっちが勇気のある人だと思う？

…うん！

ボクみんなに話すよ！

病気のこと友だちに話すのはまだ早いんじゃないかしら…

でも本人の気持ちは大事にしてやりたいし…

ゆうくん、友だちにしっかり話すと、黙ったままサイクリングに行くのと、どっちが勇気のある人だと思う？

自分で病気をコントロールしていけるか、不安に思う時期ですから

見守っていきましよう

赤ハナ先生 アドバイス

ゆうくんは、血友病は凝固因子が不足することから起る病気であることや、不足している凝固因子製剤を定期的に注射しているから、みんなとあまり変わらない生活ができることを説明しました。

調子が悪い時は言っつね！

そっだったの…

でも、自分で注射できるなんてすごいじゃん！

え？

ゆうくん！大事なことを忘れてるんじゃないかい？

そしてサイクリングの当日！

行ってきまーす！

あ！いけない、オヤツだ！！

凝固因子製剤の注射だろ！！

まったく…

**アテンション・メモ**

子どもから大人になっていく思春期は、親から自立を果そうとして反抗的になったりしますが、同時に、血友病のことをかなり理解し、自分のこととして対処できるようにする時期でもあります。また、同世代の仲間との一体感を大切にしますので、病気のことを友だちに話すかどうかは本人の意思を尊重してもよいのではないのでしょうか。血友病であっても頑張っている自分に自信が持てるよう、成長にあわせてサポートしていききたいものです。